

やすらぎの家デイサービスセンター令和5年度第1回 運営推進会議 議事録

日 時: 令和5年 8月29日(水)

参加者:

利用者代表	0名	出雲市役所 高齢者福祉課	1名
利用者家族	1名	地域ボランティア	2名
事業所スタッフ (施設長・生活相談員)			2名

議題

1. デイサービスの利用実績について
2. 利用者状況について
3. 行事について
4. ヒヤリ・ハット報告

●利用状況について

【令和5年8月現在 利用登録者19名の状況】

〔性別〕 男性 2名 女性 17名

〔介護度分布〕 要介護1～7名、要介護2～6名、要介護3～5名、要介護4～1名、要介護5～0名

〔利用頻度〕 週5日 4名、週4日 2名、週3日 3名、週2日 4名、週1日 6名

〔平均年齢〕 83.42歳 (昭和1ケタ4名、昭和10年代10名、昭和20年代5名) 73歳～96歳

〔平均介護度〕 2.0

〔他サービス併用〕 定期的なショートステイ: 4名 週末デイ: 0名 ヘルパー: 5名 医療系: 4名
サービス付高齢者住宅で生活: 2名

●行事・活動について

3月	ひなまつり、お彼岸 (ぼたもち作り)、花見、誕生会、調理
4月	おやつ作り、誕生会、調理
5月	おやつ作り、誕生会、調理
6月	おやつ作り、誕生会、調理
7月	七夕会、誕生会、調理、災害避難訓練
8月	納涼祭、盆団子作り、盆踊り、誕生会、調理

今後の行事予定

9月: 長寿お楽しみ会 (敬老会)、おやつ作り、誕生会、調理

10月: 阿須利神社 お祭り、おやつ作り、ハロウィン、調理

11月: 三谷神社 お祭り、神在月 参拝、芋ほり、干し芋・干し柿作り、紅葉見学、おやつ作り、調理

12月: 忘年会、クリスマス会、障子貼り、大掃除、おやつ作り、調理

●ヒヤリ・ハット報告

令和4年度 ヒヤリ・ハットの分析を報告

令和4年度は17件(令和3年度は30件)。要介護5の利用者がいなかった事もあり、転倒や椅子からの転落、異食行為、一人外出も前年度より半数以下に減った。一方、事務処理などスタッフの業務によるヒヤリ・ハットが多くなっている。

毎年、第三者委員に報告して、総評を頂いている。前年度の総評で、再発防止策として「ヒヤリ・ハット報告後、1ヶ月後に、もう一度検証してはどうか？」と、アドバイスをもらった。令和4年度から報告用紙に経過を記録するようになり、効果があった。服薬ミスなど、エラーのないように色々手順を踏むようにしているが、時間の経過とともに、その手順を省いてしまっている事もある。これからは、1か月後だけでなく3か月後、半年後にも確認すると良いと思われた。

●意見交換

【ボランティア】

- ・月に1～2回、1時間程度のボランティアだが、いつも雰囲気よく和やかだと思って見ている。スタッフとのコミュニケーションもよく、今日話を聞いて行事もこんなに充実していて楽しい雰囲気伝わってくる。
 - ・ボランティアで来ている時間では、分からない知らない事がたくさんで、こんなにいろいろ心配りもしておられ、大変だと思った。
- ➡【事業所】ボランティアさんに食後の洗い物をしてもらうことで、利用者みなさんとゆっくりコーヒータイムを楽しめる時間になっていて非常に助かっている。

【事業所】

- ・ボランティアメンバーさんは、みなさんご近所の方なので、ここへ来て「あら久しぶり！」と利用者さんと声をかけ合ったり、一人暮らしの方の見守りをしてくださったり、ヒヤリ・ハット報告にもある一人外出された時に知らせてくださったりといつも助けて頂いている。

【家族】

- ・自宅にいと部屋で過ごすか、外の草取りをするか、料理も一緒にしていたのがいつの頃からか台所に立たなくなり、毎日刺激のない生活をしてきたことで、徐々に物忘れが出たため介護保険申請し、やすらぎの家へ来て2年になる。母は決められた時間のスケジュールの中で過ごすことが難しく、ここでは自分のペースで色々な活動をさせてもらい、週3日を楽しく過ごしている。以前よくしていた編物も、ここですることでも家でも思い出し、毛糸を引っ張り出して編んでいた。ここでの友人の名前も覚えているようだ。家に帰ると「今日は行ったかいね？」とすぐに忘れてるのに、デイでは刺激もありいくらかしっかきしているようだ。また身体的な事も、家では気付かないことを知らせてもらい助かる。
- ➡【事業所】デイサービスの迎えが来るとスイッチが入り、仲良しの方の家もよく覚えている。スタッフの名前は覚えてなくても、仲良しの名前はすぐ出て来て、お互いに良い関係となっている。

【市役所 高齢者福祉課】

- ・利用実績や利用者状況等わかりやすい表にまとめられ、行事やヒヤリ・ハット報告では外部から

の指導ももらいしっかりとケアされていることがわかる。家族にとっても安心して利用できることに繋がっていると思う。

【事業所】

- ・最近、一般型デイサービスでも認知症の人をたくさん受け入れておられる。認知症専用のデイサービスは、利用単価が高いこと等もあって、利用者が少なくなり、市内の認知症専用デイサービスの事業所の数が減っている状態。柔軟な対応や個別の関わりなど、存在意義はあると思うが、市役所へ相談に来られる時はどういった相談が多いでしょうか？
- ➡【市役所 高齢者福祉課】市役所へは、昼間だけでもデイサービスを使いたいと家族が介護保険申請の相談に来られる方が多い。認知症の方の割合も多いが、そこからケアマネジャーを通しての施設選びで利用への運びになるので、判断としてはケアマネジャーの意見が左右しますかね。
- ➡【事業所】申請の段階で認知症であっても、認知症専用の所に行く程ではないとの判断で初回から認知症専用デイをすすめられるケースが少ない。出かけにくい人の依頼か、得意な事を続けられたり外出など楽しめたり個別な関りが必要なケースだと、新規の依頼がある。見学も随時受け入れ、雰囲気味わって決めてもらえるようにしている。
- ➡【家族】うちの場合は、ここのデイサービスのことを知っていたので、母もここなら楽しく出かけるのでは、と思いケアマネジャーに話し利用することになった。